

報告事項

第84期 事業報告 および
連結計算書類等 報告の件

平成28年6月21日

NECネットエスアイ株式会社

第84期(平成28年3月期)事業報告

マクロ環境（国内）

- 政府の経済対策や金融政策などを背景に、企業収益、雇用情勢に改善が見られるなど、緩やかに回復

ICT市場

- 事業分野ごとに強弱が見られた
 - 一般企業向け：景気回復を受け、ICT設備投資が堅調に推移
 - 通信事業者向け：ネットワークインフラへの設備投資が厳しい状況
 - 官庁自治体向け：安心・安全をテーマとしたICT投資が活況

通信事業者向けの事業環境が悪化し、前期比減収減益

(単位：億円)

	第83期	第84期	前期差/比
受注高	2,991	2,749	△8%
売上高	2,922	2,800	△4%
営業利益	162	141	△20
(営業利益率)	(5.5%)	(5.0%)	△0.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	78	60	△18
(当期純利益率)	(2.7%)	(2.1%)	△0.6pt
R O E	8.7%	6.5%	△2.2%
フリー・キャッシュ・フロー	△15	66	+81

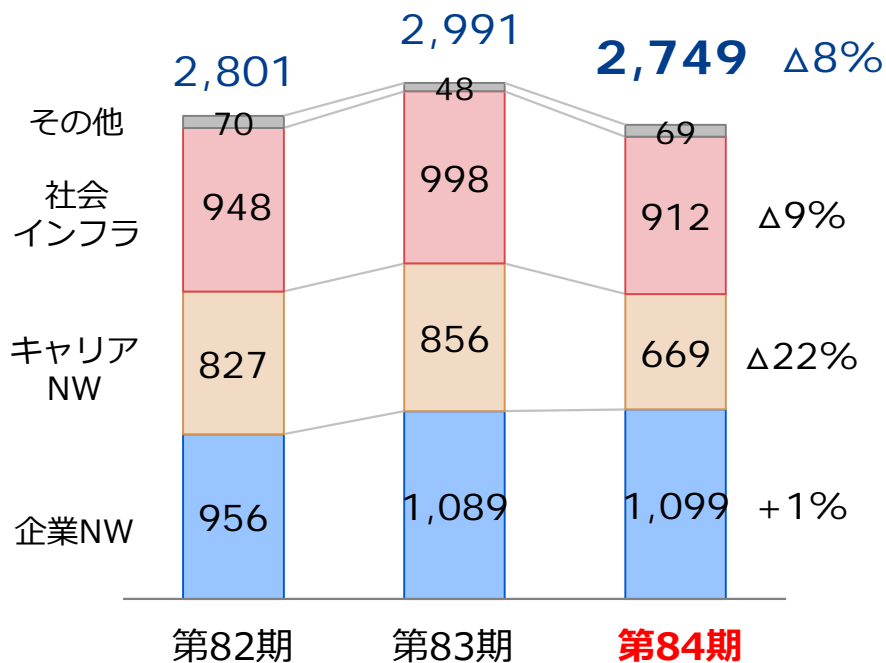
セグメント別受注高／売上高

受注高：通信事業者の投資抑制の影響(△200)、消防・防災システム事業の減少(△110)などにより前期比減少

売上高：企業NWは着実に成長も、通信事業者の投資抑制の影響(△180)により前期比減少

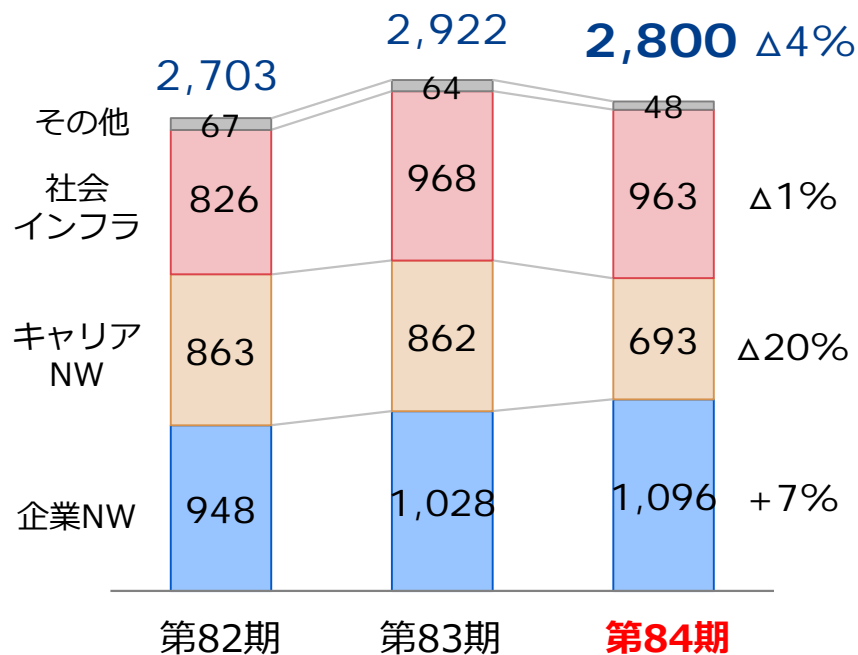
受注高

(単位：億円)



売上高

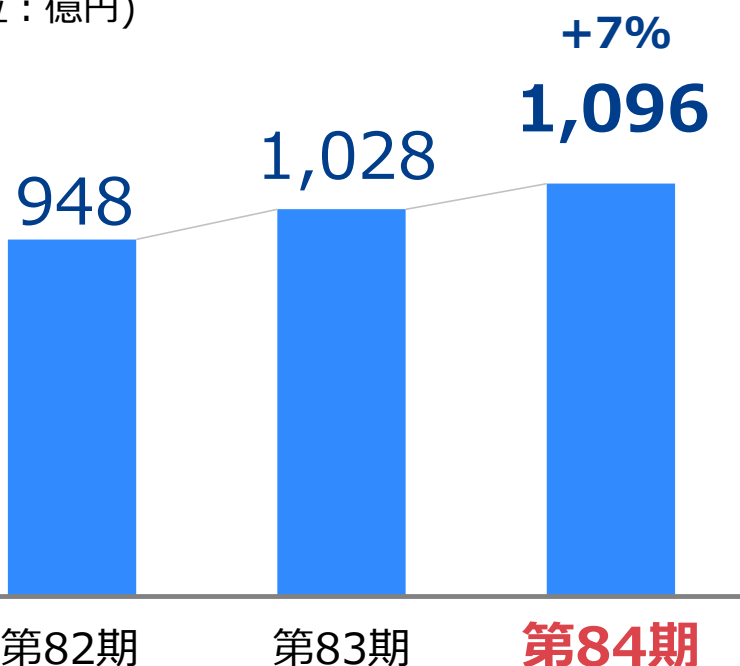
(単位：億円)



事業内容：
情報通信(ICT)とオフィスデザイン
を融合させた働き方改革
“EmpoweredOffice”などの
オフィス向けソリューションを提供

売上高

(単位：億円)



EmpoweredOffice

EmpoweredOffice事業が 牽引し、前期比増加

- PBX(構内交換機)の更改需要を契機とした受注活動も貢献

キャリアネットワーク事業

事業内容：

通信事業者のネットワークインフラ構築など、特に高信頼性の必要なSI・サービスを提供



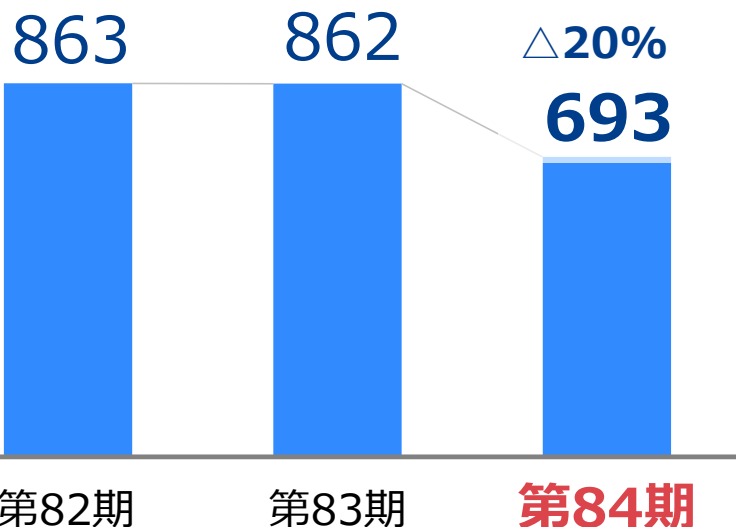
通信事業者向け
基幹ネットワーク



移動体基地局工事

売上高

(単位：億円)



通信事業者の投資抑制の影響を受け、前期比減少

事業内容：

官公庁、公益法人(放送・鉄道など)
向けに日常生活の安全・安心や
利便性を支える幅広い
通信ネットワークを提供



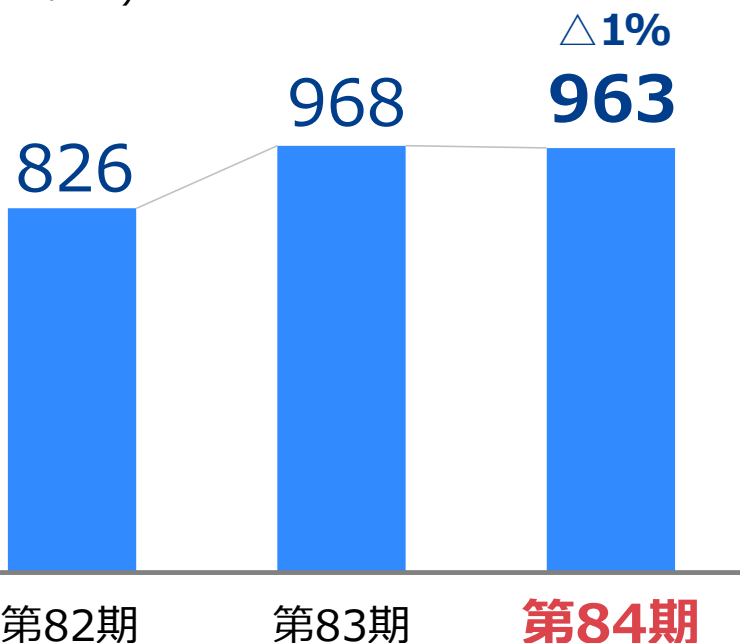
CATV敷設工事



海外通信網整備
(ミャンマー)

売上高

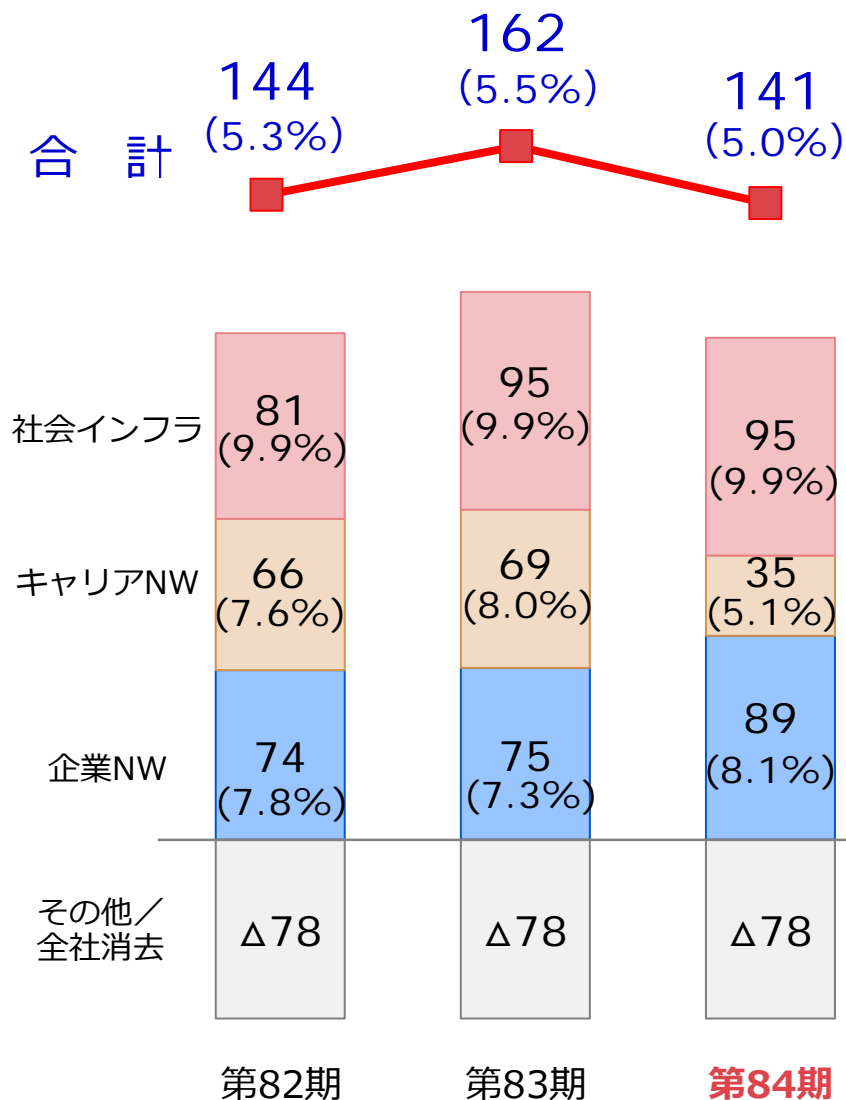
(単位：億円)



消防・防災システム事業が
減少も、官公自治体向け、
海外事業が拡大し、横ばい

セグメント別営業利益

(単位：億円)



**キャリアNWの利益半減により減益。
企業NWは大幅に改善**

● **社会インフラ**

- ・ 前期並みを維持

● **キャリアネットワーク**

- ・ 急激な環境変化による売上減への対策遅れにより減益
- ・ 4Qに入りコスト構造改革の効果が顕在化

● **企業ネットワーク**

- ・ 売上増およびコスト削減により増益

年間配当70円を実施

- 年間配当額 前期比 6円増

	1株当たりの年間配当金		
		中間	期末
第84期	70円	35円	35円

働き方改革 関連の受賞

● 日経ニューオフィス賞受賞

(近畿ニューオフィス奨励賞)

スマートフォンやタブレット等を
活用した働き方改革 (関西支社)

● テレワーク推進賞受賞

(テレワーク実践部門 奨励賞)

 **社団法人 日本テレワーク協会**

女性活躍など働き方の多様化に
対応した在宅勤務の実証実験



MVNOサービスを開始(IoT事業への参入)

(平成27年10月～)

- SI + MVNO(回線) + 運用サービスの垂直統合型IoTサービス
 - ✓ B to Bをターゲット
 - ✓ 柔軟な回線価格により、他社と差別化
- MVNOパートナープログラムを推進 (現在、約150社)
 - ✓ 新サービスの開発、販路拡大

サービス例

スマートロック
(電子キー)サービス



住宅のドア開閉、
状況確認などを
遠隔制御



ミャンマー事業拡大

- ミャンマー進出(平成27年4月)以降、各種プロジェクトを受注

<通信事業者関連>

- ✓ 移動体通信基地局、局舎電源改修、光伝送網構築
- ✓ 現地通信事業者の技術者に対する教育・トレーニング

基地局関連プロジェクト

基地局
衛星局構築



基地局電力供給用
ソーラーパネル構築



局舎内関連プロジェクト

光伝送構築



局舎電源
リハーシオン



通信事業者技術者教育

技術・プロジェクト管理教育等
延べ約400名受講



<エネルギー関連>

- ✓ 無電化村落向け
太陽光発電システムプロジェクト



太陽光発電システム

対処すべき課題

通信事業者の設備投資抑制は継続も、企業、公共分野において堅調な事業環境が期待される

● 企業ネットワーク

- お客様のICT投資意欲は堅調に推移

● キャリアネットワーク

- 通信事業者の設備投資は引続き抑制傾向
- IoT分野の活性化に期待

● 社会インフラ

- 国土強靱化など安心・安全をテーマとした公共投資は堅調に推移
- 消防救急無線システムのデジタル化は終了

第85期 事業計画

受注高：企業分野の伸長により増加を見込む

売上高：通信事業者の設備投資抑制、消防救急無線デジタル化のピークアウトにより減少

営業利益：売上減少により減益も、キャリアNWのコスト構造改革効果などにより利益率は維持

(単位：億円)

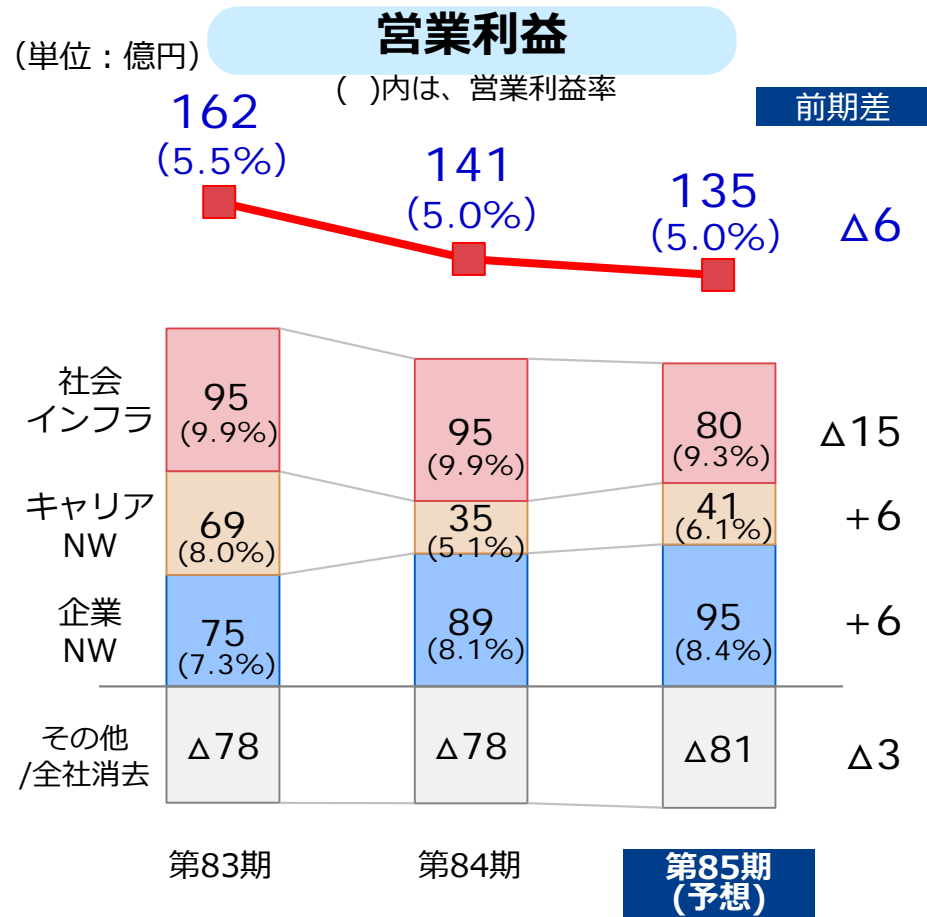
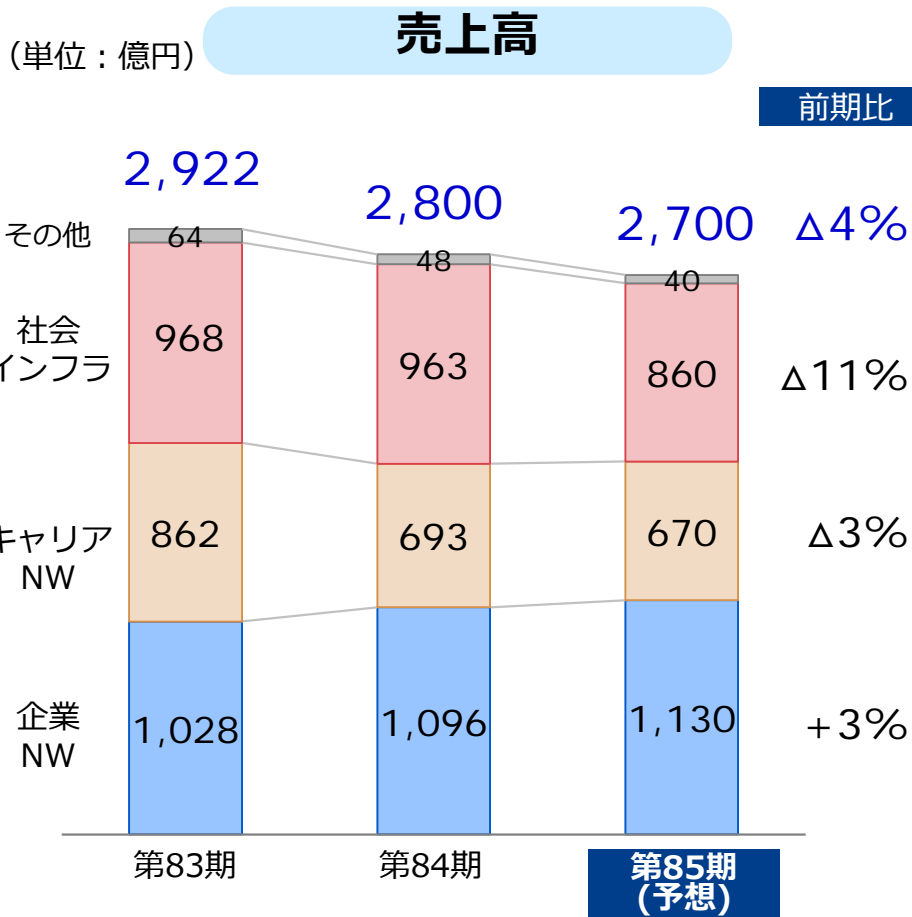
	第84期	第85期	前期差/比
受注高	2,749	2,800	+2%
売上高	2,800	2,700	△4%
営業利益	141	135	△6
(営業利益率)	(5.0%)	(5.0%)	0.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	80	+20
(当期純利益率)	(2.1%)	(3.0%)	+0.9pt

第85期 事業計画 (セグメント別)

企業NWは増収増益継続を目指す

キャリアNWは通信事業者の投資抑制もコスト構造改革効果で増益を見込む

社会インフラは消防救急無線デジタル化のピークアウトで減収減益予想



再成長に向けた足場固めの1年

企業ネットワーク

- EmpoweredOffice事業を軸にサービス領域を拡大
- PBX(構内交換機)更改需要の確実な取込み

キャリアネットワーク

- 通信事業者向けアセットを活用した事業展開
 - ・パブリック(文教・医療・自治体)分野の取組み強化
- コスト構造改革の成果刈取り

社会インフラ

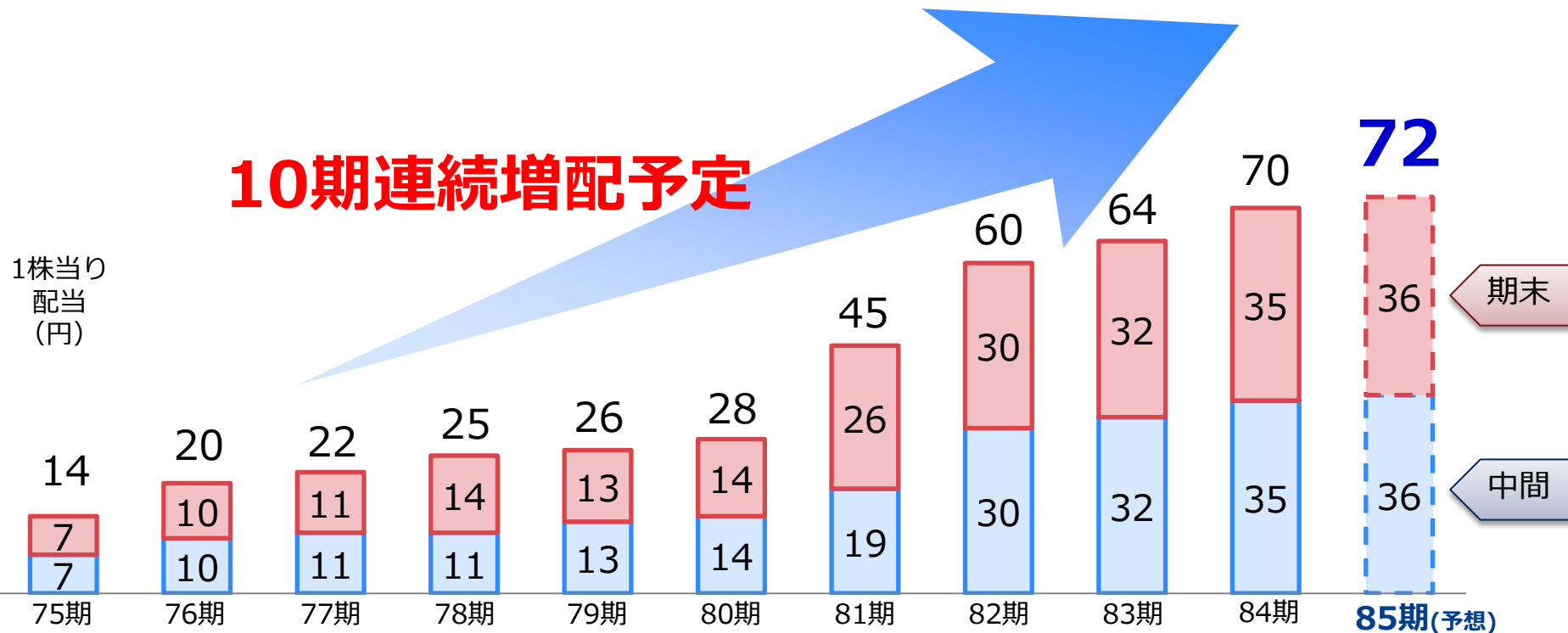
- 成長分野である放送・CATV、防災、道路・鉄道へ注力
- 生産性向上による価格競争力の強化で受注拡大

第85期 配当金について

成長投資による企業価値拡大と同時に、安定配当をベースに株主還元を継続的に拡大

- DOE(自己資本配当率)を考慮
- 第85期：年間**72**円/株へ増配予定

10期連続増配予定



トピックス

中期経営計画

(平成28年度～平成30年度)

基本方針

- サービス事業を拡大
～コンサルティングからサービスまでのトータルSI'erへ～

基本戦略 (注力事業分野)

- EmpoweredOffice事業
- テクニカルアウトソーシング事業
- インフラ事業
- 海外事業

経営目標 (平成27年度)

※平成26年5月見直し

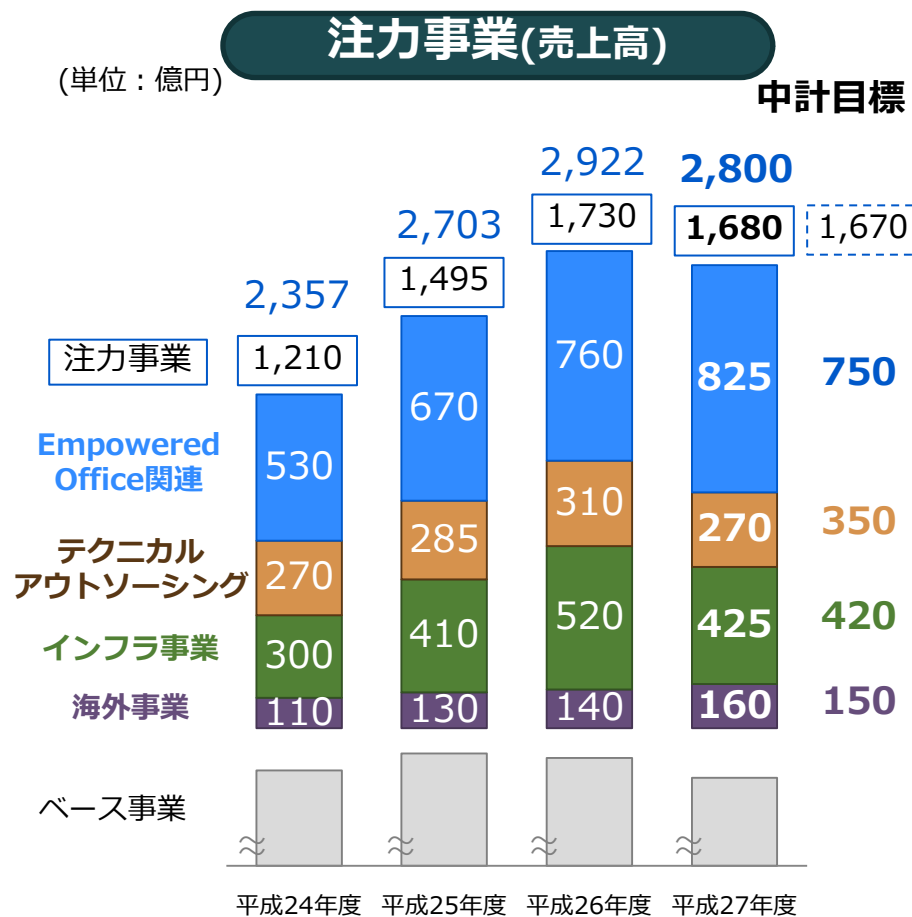
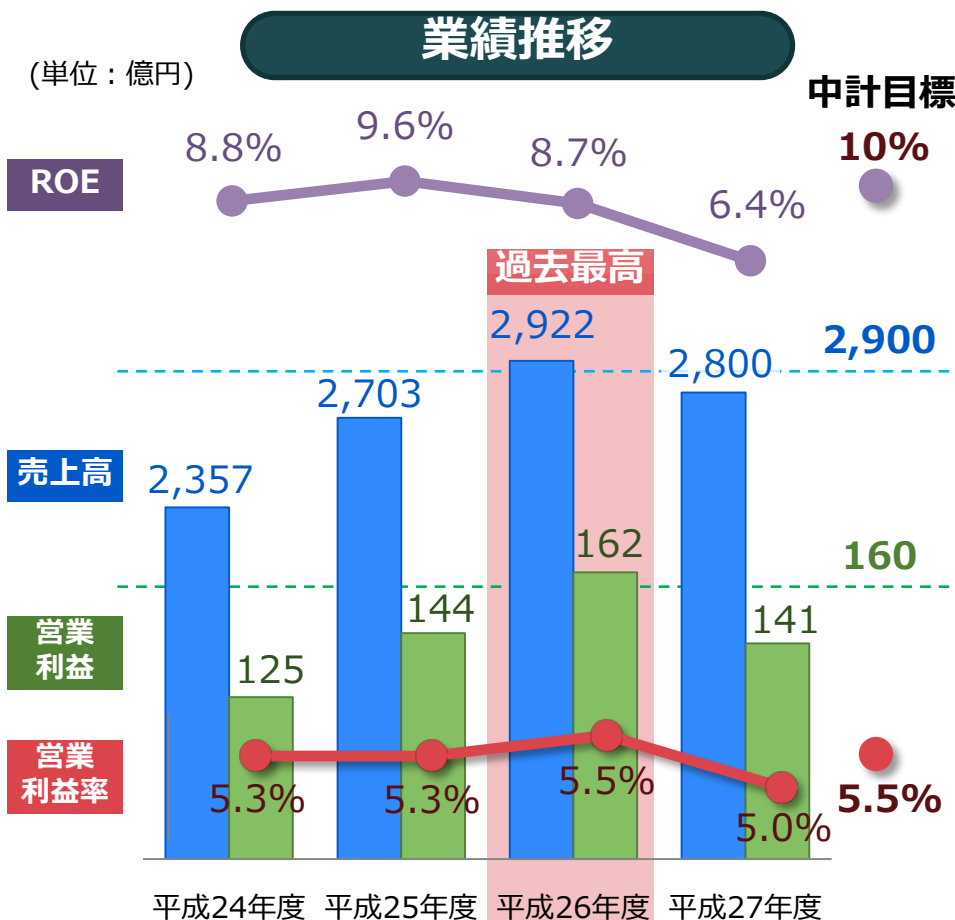
- 売上高 2,900億円
- 営業利益 160億円
- 営業利益率 5.5%
- ROE 10%

前中期経営計画(平成25年度～平成27年度)の振り返り (2/2)

ROEを除く経営目標は1年前倒しで達成も、通信事業者の投資急減により最終年度は減速

- 注力分野は、ほぼ計画通りに拡大

※中計目標値は、平成26年5月見直し発表



事業環境

国内通信事業者向け市場を除き、事業機会は拡大 (企業向け、社会インフラ、グローバル市場)

- ICT市場は緩やかに成長も、SI・保守からサービス提供型へシフト
(足元は景気不透明感により足踏み懸念)
- 女性／シニア活躍社会等、働き方・人材活用の多様化が進展
(テレワーク、働き方改革関連投資が拡大)
- 社会インフラ関連投資は堅調
(国土強靱、地方創生、オリンピック・パラリンピックなど)
- グローバル市場はアウトバウンド、インバウンドともに活性化

アウトバウンド：海外におけるICT関連市場

インバウンド：訪日外国人増加やオリンピック関連投資
増加に伴い日本で活性化するICT関連市場

基本方針

<トップライン(受注・売上)拡大>

- ・ サービス／インフラ／グローバル事業強化による更なる成長

<事業力強化>

- ・ 成長を支える事業基盤の強化
(注力分野における体制整備、人と事業への投資拡大)
- ・ 更なる経営効率の改善
(原価低減・SCM強化の推進)

経営目標

売上3,000億円へチャレンジ 最終年度に最高業績を目指す

【連結】

平成30年度

<参考：過去最高業績>

• 売上高	3,000億円 以上	2,922億円 (平成26年度)
• 営業利益	165億円 以上	162億円 (平成26年度)
• 営業利益率	5.5% 以上	5.5% (平成26年度)
• ROE	10% 以上	9.6% (平成25年度)

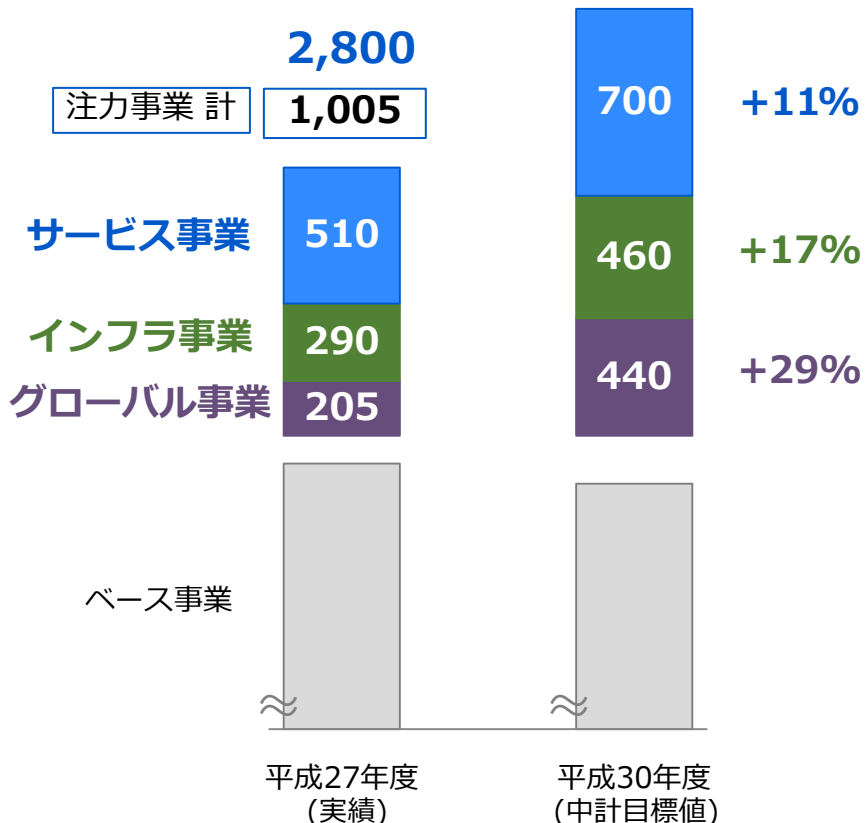
*目標値は平成28年5月10日現在

注力分野

売上高目標

(単位：億円)

3,000 年平均伸率
1,600 +17%



サービス事業

- BtoBサービス事業強化・拡大
 - ・ EmpoweredOffice
 - ・ サイバーセキュリティ
 - ・ IoT/MVNO

インフラ事業

- 投資活性化市場における事業強化・深耕
 - ・ 放送映像/CATV、防災、道路/鉄道

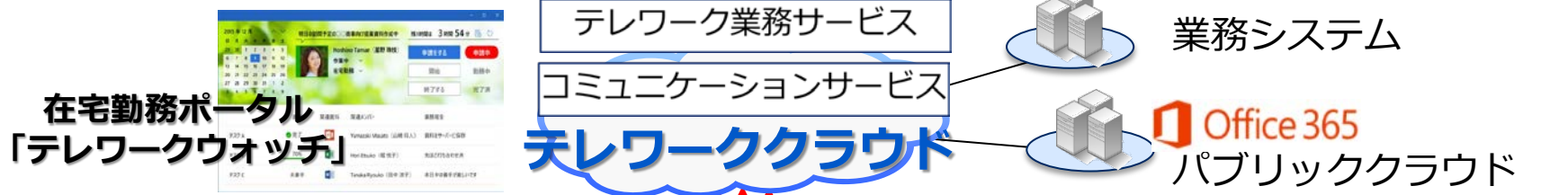
グローバル事業

- ASEANを軸としたアウトバウンド事業の拡大
- 訪日外国人増加で拡大するインバウンド事業への注力
 - ・ ホテル、空港、観光、多言語サポート

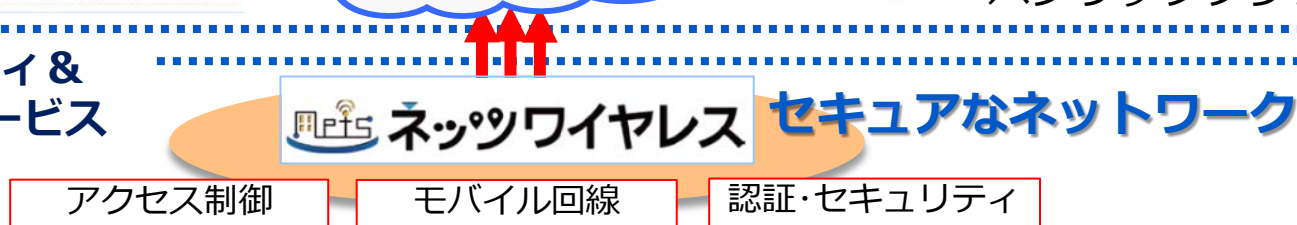
オフィス空間における働き方改革から、空間・場所を越えた働き方、環境の創造へ

- 多様化する人材や働き方を企業力に活かす
統合テレワーク環境を実践、検証 ⇒ コンサル提案力強化

業務アプリサービス



セキュリティ& モバイルサービス

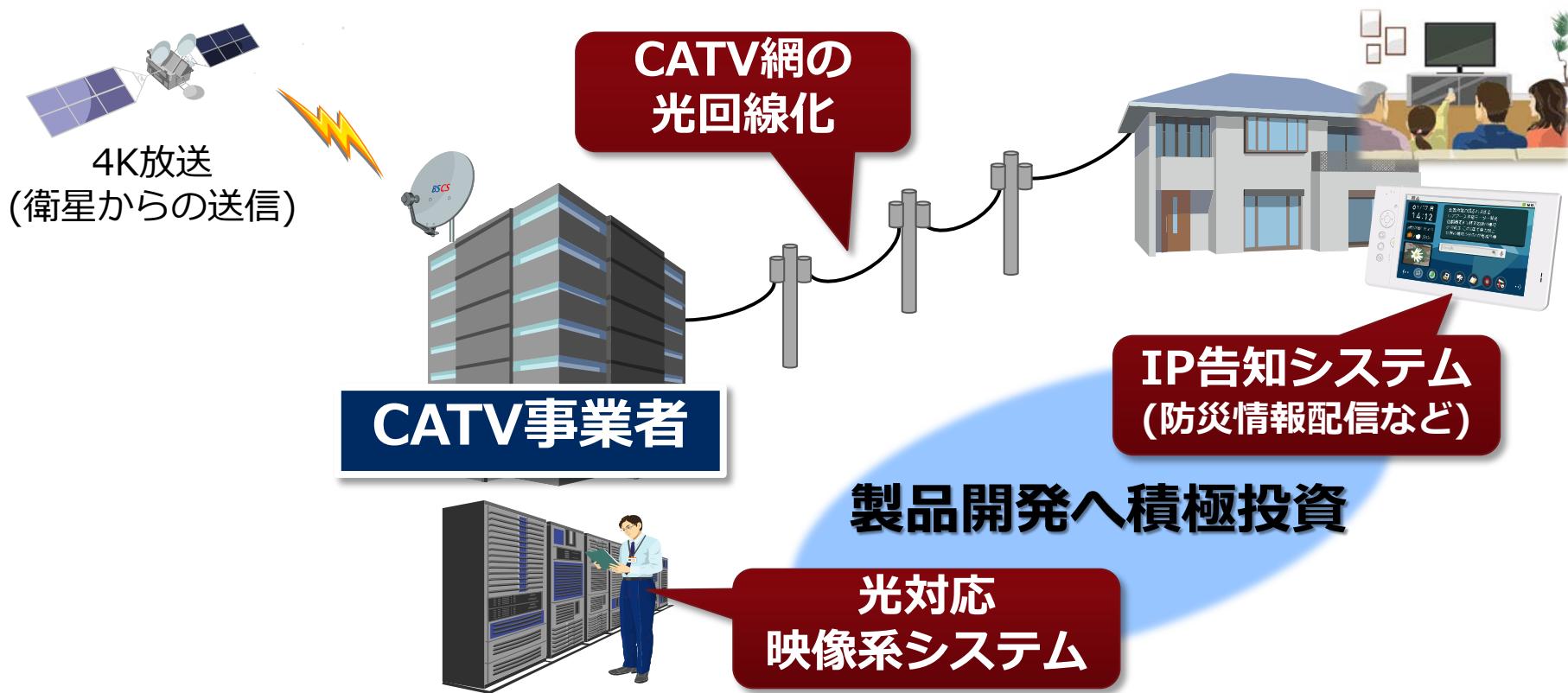


ワークスタイル改革



CATV事業の拡大

- 大容量4K放送配信のためのCATV網整備需要
⇒ 光回線化への対応、CATV活用事業への領域拡大



ミャンマー事業の更なる拡大、ローカルSI体制強化 に向け、現地合弁会社を設立

2016年6月営業開始

- 高品質、ローコストSE強化・拡充によるローカライズ強化
- 他エリア案件、日本国内案件へのリソース活用・展開

ICT Star Group Myanmar Co., Ltd.



グローバル事業(インバウンド)における取組み

訪日外国人の増加に伴い事業機会が拡大

- 足元は増改築に伴いホテル設備の分野が活況
⇒PBX(構内交換機)の高いシェアや豊富な商材を活用



事業力強化への取り組み

投資戦略

投資金額
約200億円 (3カ年)

成長を加速する
事業への投資

- 成長・強化領域への投資強化
・ EmpoweredOffice等
- 業務効率化、経営スピードの向上
- 新規事業開発、M&A

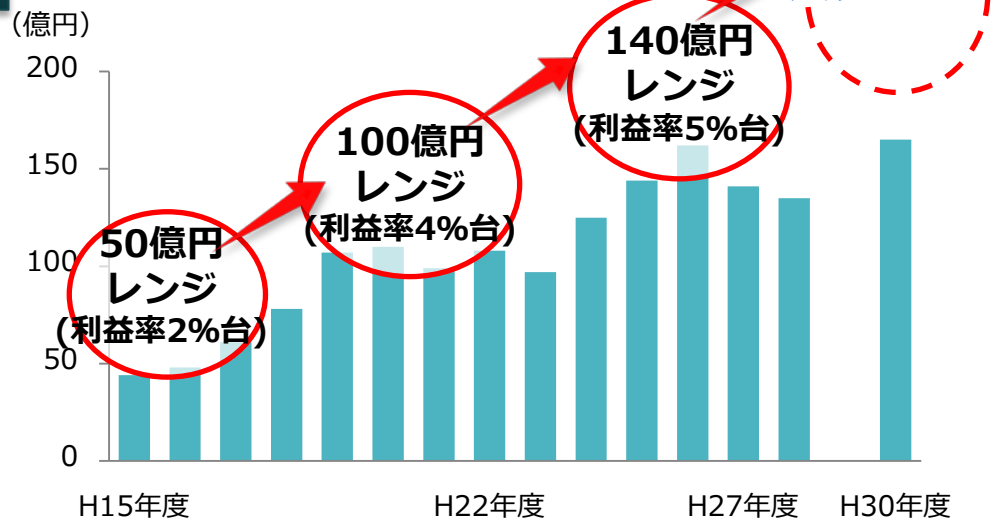
成長を支える
人材への投資

- サービス事業スキルの強化
- グローバル人材の強化
- ダイバーシティ経営の強化

原価改革・業務プロセス改革

- 外注費の効率化
- 標準化/集約化による
機器費、材料費の低減
- 標準化推進/後戻りコスト撲滅
に向けたマネジメント強化

【営業利益推移】



その他の事業報告および計算書類の
内容につきましては、お手許の
「第84期 定時株主総会 招集ご通知」に
記載のとおりでございますので、
説明は省略させていただきます。



明日のコミュニケーションをデザインする



NEC ネットズエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

\ **Orchestrating** a brighter world

NEC

NEC ネットズエスアイ

www.nesic.co.jp